

阿南・那賀・美波定住自立圏共生ビジョン懇談会 第1回（議事要旨）

【日 時】

平成23年5月20日 午後2時～午後3時30分

【場 所】

阿南市役所 本庁舎3階 第2会議室

【出席者】

出席委員：岩瀬公委員、上杉豊久委員、尾田信義委員、大石満喜子委員、大澤夫左二委員、川尻竹藏委員、川人建介委員、児玉一郎委員、近藤光男委員、酒井勝利委員、澤田誠三委員、三宮建治委員、惣原廣幸委員、中川正委員、畠山正夫委員、寶木正美委員、湯城豊勝委員、吉岡正俊委員、吉田道明委員（19名）

欠席委員：秋本喜久雄委員、江本友昭委員、片山悦子委員、久米良久委員、山口貴司委員、渡辺純子委員（6名）

オブザーバー：篠原守充(徳島県南部総合県民局企画振興部政策調査幹)、岡川雅裕(那賀町企画情報課長)、磯野晴幸(美波町総務企画課長)

市及び事務局：岩浅嘉仁(阿南市長)、尾山勝敏(阿南市企画部長)、美馬隆司、鈴江省吾、吉岡泰香、幸泉賢一郎、三河恭普(以上阿南市企画政策課)、草野裕作(美波町総務企画課)、大西墨(那賀町企画情報課)

【次 第】

1 開 会

2 委 嘱

3 委員紹介

4 市長あいさつ

5 会長・副会長の選出

6 議 事

(1)報告事項

① 阿南・那賀・美波定住自立圏の取組経過について

② 定住自立圏構想の制度概要について

③ 阿南市・那賀町・美波町の協定について

(2)協議事項

① 共生ビジョン策定のスケジュール・推進体制について

② 阿南・那賀・美波定住自立圏共生ビジョン(素案)について

(3)その他

7 閉 会

【議事要旨】

1. 開会(事務局)

2. 委嘱

- ・出席の全委員に岩浅市長から委嘱状を手渡す。

3. 委員等出席者の紹介

- ・出席委員による自己紹介
- ・オブザーバー並びに事務局職員紹介

4. 市長あいさつ

- ・お忙しい中、第1回会議に出席いただきましたことに厚くお礼を申し上げます。
- ・定住自立圏構想は合併に繋がるものではなく、それぞれの自治体が共生していくという発想であり、通勤圏として生活を共有している阿南・那賀・美波が、その地域の発展を模索していくという取組です。
- ・先の震災では、被害を受けた海岸部の町村に対して、近隣の内陸部の自治体がいち早く避難者の受入やライフラインの支援を行いました。まさに、定住自立圏も災害時はもちろん、生活に必要な機能について自治体の枠を越えて連携し、安全安心のネットワークを作っていこうというものです。
- ・本年3月に、各議会の承認を頂き、坂口那賀町長、影治美波町長と形成協定を締結いたしました。今後、圏域の将来像や具体的な事業を盛り込んだ定住自立圏共生ビジョンを早期に策定したいと考えますが、医療や産業、交通、災害などさまざまな分野にまたがっており、民間や地域の方々に御意見をお伺いするため、皆様に委員をお願い申し上げます次第です。
- ・懇談会の趣旨を御理解いただき、阿南・那賀・美波圏域の新しいネットワークをつくるため、幅広い観点から御意見をいただきますようお願いを申し上げます。

5. 会長・副会長の選出

- ・会長については、会議設置要綱の規定に基づき、委員互選により徳島大学大学院教授の近藤光男氏を選出。
- ・副会長について、会議設置要綱の規定に基づき、近藤会長が、阿南工業高等専門学校副校長の湯城豊勝氏を指名。

6. 議事

(1) 報告事項

- ①阿南・那賀・美波定住自立圏の取組経過について
- ②定住自立圏構想の制度概要について
- ③阿南市・那賀町・美波町の協定について
- ・①②③について関連があるため、会議資料に基づき、事務局から一括して説明を行う。

(会長)

- ・事務局からの報告事項について、ご質問・ご意見ございますか。

(委員)

- ・医療のところ、公的病院である阿南共栄病院、災害拠点病院である阿南医師会中央病院と記述しているが、医師会中央病院は民間病院であるので、将来的に経営が危ぶまれる状況も考えられる。そういったことも配慮していただきたい。

(2) 協議事項

①共生ビジョン策定のスケジュール・推進体制について

②阿南・那賀・美波定住自立圏共生ビジョン(素案)について

- ・①②について関連があるため、会議資料に基づき、事務局から一括して説明を行う。

(会長)

- ・ただいま事務局から説明や提案があったが、我々の役目は行政から出された「案」について、地域あるいは専門分野の立場から意見を出していくことなので、忌憚のない意見をいただきたい。また、ビジョンの素案について、今日の第1回の会議では第3章までが対象で第4章以降は次回との説明があったが、これについても意見をいただいてもかまわないので意見があったら発言いただきたい。

(委員)

- ・推進体制が示されたが、幹事会や担当者部会はどういったメンバーで何人ぐらいでやられるのか？委員は、そこでつくられた素案に対して注釈を入れるのか、どうしたらいいのか具体的に見えてこない。そのあたりを示してほしい。

(事務局)

- ・担当者部会については、医療を例にとると、阿南市は保健センター、那賀町は健康福祉課、美波町は町立の由岐・日和佐病院等の職員で構成している。それぞれ専門的な分野に関する事も多いことから、部会では必要に応じて関係者に相談しながら、具体的な事業をつめていきたいと考えている。

(委員)

- ・具体的な検討に入ったときに、行政職員においても専門的知識はあると思うが、やはり実態を踏まえて状況把握ができる病院の関係者もメンバーに入れるべきではないか。行政サイドのみで進められるのであれば、我々民間でやっていくものにとっては困ることが生じるのでは、という気がしますので、そのあたり考慮していただきたい。

(事務局)

- ・医療に関しまして、職員だけでは、詳しいことや医療機関の考え方等の把握は難しい面もあるので、必要に応じて、病院関係者にアドバイザー的に出席してもらうなど、相談

をさせていただき、検討したいと考えている。

(会長)

- ・将来に対して望ましいビジョンをつくっていくためには、体制とか情報収集が大事なので、ただいまの意見について、手法は事務局の方で考えていただきたい。

(委員)

- ・人口減少と財政難のなかで定住自立圏を進める上において、1市2町が連携して経費を節減していくのが効果的である。特に、それぞれの施設を共有して活用していくのが有効だと思うが、資料の推進体制をみると、6番の交通・消費生活で施設活用が入っているが、子育てや産業などいろいろな施設があるので、他の部門はどうなのか。

(事務局)

- ・2番目の教育分野での体育館や文化施設の活用をはじめ、幅広い公共施設について検討していくので御理解いただきたい。

(委員)

- ・医療について、例えば公的病院と災害拠点病院の機能の維持拡充を図るということになっているが、実際問題として医師のマンパワーが少なく、いわゆる救急医療、地域医療が十分こなしていけないのが現実である。ハード面よりも医師をどうやって引っ張ってくるか、そのためにどういう体制をつくるか？これを考えていかないと、計画は成り立たない。この地域の医師供給源は徳島大学であるので、大学がこの地域に何を期待して、医師を派遣するのかを理解したうえで医療体制を組まないと方策にならないし、具体的には基幹病院を近い将来つくらなければいけないと思う。

公的病院と災害拠点病院は、共栄病院と医師会阿南中央病院の話だと思うが、今すぐにはいかないけれど、この地域を支える基幹病院をつくるという構想を中心においていかないと、医療体制の再生ということは難しい。

(事務局)

- ・医師不足は非常に大きな問題であり、救急医療体制の確立と災害拠点病院の機能維持・拡充を図るとしているが、これに関してはかなり時間がかかると考えている。しかし、その実現が一日でも早くできるように、この自立圏構想の中で、医師が来てくれる施設や環境の整備に向けて、協議を重ねていくという取り組み方もあるので、時間はかかると思うがよろしくお願ひしたい。

(会長)

- ・ビジョン策定にあたり、関係する側がどう考えているのかということは重要なポイントである。ビジョンといえども、5年間のアクションプログラムなので、双方が情報を共有して望むことが期待される。

(委員)

- ・関連で申し上げるが、共栄病院は「築」相当の年数が経っており、建て替えなければいけないという状況になっているので、構想の中で、そのことも頭に入れて検討していただきたい。

(会長)

- ・その他ありませんか。

(委員)

- ・公共施設の相互利用で、那賀町にはないが阿南市にあるという施設、例えば火葬場のような施設も検討されるつもりなのか。また、那賀町と阿南市は川で繋がっており、渇水、災害、ダムいろいろな問題もあるが、山が非常に荒廃しており「山守」「川守」が定住できるようなビジョンを考えるべきではないか。保水力のある山を育てるために、下流上流が利用面だけで議論するのではなく、本当に資源と水というものを考えていくのが、将来を見据えたビジョンであると思うので、そういった面も含まれているのかお伺いしたい。

(事務局)

- ・施設の相互活用では、葬祭場についても他のスポーツ施設や文化施設と同様に検討することになっている。森林資源、山を育てる「山守」といった面についても、農林水産の部会で検討することになっている。

(会長)

- ・事務局の方から定住自立圏の名前、将来像について提案があり、それについて今のところ意見はないようだが、今日はじめて資料を見るわけなので、時間のあるときに詳しく読んでいただき、次回に御意見をいただきたいと考えているので、その点よろしくお願ひしたい。それでは、これで意見交換を終わりたい。

(3) その他

(事務局)

- ・次回の懇談会は7月末の7月27日(水)午後1時30分より市役所3階委員会室での開催を予定しており、事前に原案等も送付したいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

(会長)

- ・以上で、第1回の議事進行を終わるが、今後とも、委員の皆さんにはそれぞれの立場で大所高所の御意見をお願ひしたい。

7. 閉会

(事務局よりお礼)

【会議の状況】



